

令和7年度定住自立圏共生ビジョン懇談会意見一覧

	年度	分野	発言者	委員からのご意見	懇談会での事務局の回答・対応	回答担当 事業分野	ご意見に対する回答(連携事業担当者会議)
1	R7	地産地消	岡田委員 (天理市)  林委員 (三宅町)	令和6年度より、天理駅前広場コフンにおいて「てんだいフェスタ」を開催している。今後は、同イベントにおいて大和まほろば広域定住自立圏内各町村のブースを設け、地元農産物の販路拡大やPRにつなげることも検討してはどうか。また、「てんだいフェスタ」に限らず、各町村のイベントや交流施設においても持ち回りで圏域のブースの出展を検討してみてもどうか。  各町村ごとに個別のテントを出展するよりも、定住自立圏として一つのテントを設けることで、定住自立圏の周知につながるのではないか。三宅町であれば、金ゴマやクラフトビール、グローブなどの特産品を販売できる。	各市町村の地産地消担当課に情報共有し、まずは「てんだいフェスタ」における定住自立圏ブースの出展について検討する。	地産地消	「てんだいフェスタ」において、定住自立圏ブースとして圏域内の特産品出展を検討する。その後、「てんだいフェスタ」のほか、圏域内のイベントや交流施設での出展を図る。
2	R7	—	藤澤委員 (公募委員)	田原本町は能楽発祥の地とされていることから、共生ビジョンの「第2章圏域の現況」における田原本町の【観光スポット・名所】に「補蔵寺」を、また【イベント】にフォーラム「田原本の能」を追記してほしい。	共生ビジョンへの記載を前向きに検討する。	—	第3次共生ビジョン(第2版)へ追記する。